



2学期のスタートにあたって ～笑顔・感謝・あきらめない～

長かった夏休みが終わり、静まり返っていた校舎に、子供たちの元気な声が戻ってきました。久しぶりに見る子供たちの笑顔や明るいあいさつに触れ、「元気に登校してくれることは、本当にありがたいことだ」と改めて感じています。

この夏、私事ではありますが、父が亡くなりました。父は病と向き合う日々の中でも、いつも笑顔を忘れませんでした。私が見舞いに行き、帰ろうとすると、「またね、ばいばい。」と笑顔で手を振って送り出してくれました。その笑顔を見るたびに、私は安心し、勇気をもらっていました。

父から私は、笑顔には人を安心させ、元気づける力があることを教えてもらいました。学校でも、友達や先生、地域の方との間で交わされる笑顔は、人と人との心をつなぎ、温かな安心感を生み出してくれます。

また父は、看護師さんやリハビリの先生方に、「いつも優しくしてくれるんだ。本当にありがたい。」と毎日のように感謝の言葉を伝えていました。自分自身がつらい状況にあっても、周りの人への感謝を忘れない父の姿から、私は人を大切にする事、そして「ありがとう」と伝えることの素晴らしさを学びました。

そして、父が最後まで私に教えてくれたことは、「あきらめないこと」の大切さです。病と向き合いながらも、自分にできることを一つ一つ続け、前向きに生きる姿がありました。その姿から私は、困難な状況でも希望を失わず、できることに全力で取り組むことの尊さを学びました。

学校生活の中でも、勉強や運動、友達との関わりなどで思うようにいかないことがあります。そんなときには「もう無理だ」とすぐにあきらめるのではなく、「もう少しやってみよう」「自分にできることを考えてみよう」と一歩踏み出してほしいと思います。

教職という仕事に携わる者として、私が父から学んだ「笑顔」「感謝」「あきらめない心」を、子供たちや教職員と共に大切に育んでいきたいと考えています。

2学期は、一年の中で最も長い学期です。子供たちは様々な経験や挑戦を通して大きく成長していきます。一人一人が自分らしく力を発揮し、仲間と支え合いながら、「昨日の自分より少し成長した自分」に出会える2学期にしてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動へのご理解ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。2学期も子供たち一人一人の健やかな成長を職員一同支えてまいります。引き続き、温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。





この夏は、千葉県での記録的な大雨や熊本県での豪雨災害に加え、大きな地震も発生しました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

自然災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。私たちの住む地域も例外ではなく、「もし今、自分たちの地域で災害が起こったら」という視点で備えておくことが大切です。遠くで起きた災害のニュースを「大変だったね」で終わらせるのではなく、「自分たちだったらどう行動するか」を家族で考える機会にしてほしいと思います。



9月1日の「防災の日」を前に、ぜひご家庭で避難場所や避難経路、家族との連絡方法について確認していただければと思います。いざという時に落ち着いて行動できるよう、日頃からの備えを大切にしていきましょう。

・坂戸市「防災マップ・避難所

[https://www.city.sakado.lg.jp/life/1/6/32/\[city.sakado.lg.jp\]](https://www.city.sakado.lg.jp/life/1/6/32/[city.sakado.lg.jp])

子ども教室の様子

7月16日に、こども教室の開校式を行いました。参加希望者は約100名となり、多くの子どもたちが参加してくれました。開校式当日は、学習教室やカルタ大会を行い、子どもたちは意欲的に活動に取り組んでいました。

また、8月21日には、カレー作りや水遊び、アート教室、パソコン教室、モルック教室、カードゲーム教室など、さまざまな教室を開催しました。子どもたちは興味のある教室に参加し、異学年の友達と交流しながら、楽しそうに学んだり遊んだりする姿が見られました。特にカレー作りでは、自分たちで作ったカレーのおいしさに大満足の様子でした。何度もおかわりをする子もおり、「おいしい!」「もっと食べたい!」という声がたくさん聞こえてきました。

今年度のこども教室は、12月23日の閉校式をもって全3回の活動を終了する予定です。来年度も開催を予定しておりますので、ぜひ多くの皆さんに参加していただければと思います。



開校式



学習教室



カルタ大会



カレー作り



いただきます



カードゲーム教室



アート教室



水遊び